

当会会員のダイナックス(千歳市) 様が

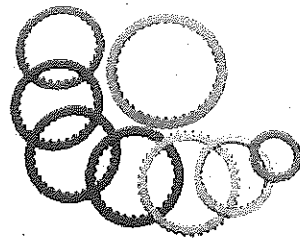
4月6日付の日刊工業新聞に紹介されました。

# ダイナックス 苦小牧工場 隣接地 クラッチ板品質向上 開発拠点など新設

**権** **復**  
**モ** **ン**  
**ブ** **ク**  
**リ** **リ**  
【札幌】ダイナックス(北海道千歳市、秋田幸治社長、0123・24・3247)は、2018年度末までに苦小牧工場(北海道苦小牧市)の隣接地に工場や物流センター、開発部門の施設を新設する。投資額は全体で約200億円を見込み、新たな雇用も200人ほどを予定。同社主力事業は自動車用などのクラッチ板で、国内外で高まる製品品質などのニーズに対応するため開発力や生産体制を強化する。

ダイナックスは苦小牧工場を取得し、造成された牧工場の隣接する土地 4月に正式契約を結

ぶ。建屋の大きさの詳細は検討中だが、今夏に工場と物流センターの建設を着工し、17年春に完成を予定する。開発部門の施設は17年秋ごろに着工して、18年度末までの完成を計画している。



現在の苦小牧工場にも開発部門を配置しているが、人員を増やし、開発機器もそろえて、今後の需要や市場変化などに柔軟に対応できる体制を整える。秋田社長は「今主力のクラッチ板

後、数十年を見据えて、競争力を持って勝ち残るために今できる投資をしていく」としている。

ダイナックスは自動車用などクラッチ板を国内外合わせて年間約4億3000万枚を生産している。国内は北海道千歳市と苦小牧市に工場を持つっており、2016年3月期の売上高は単体で約450億円を見込む。

海外では全額出資や親会社のエクセディと共同出資して設立した子会社を通じ、米国、中国、ハンガリー、メキシコで生産拠点を設けており、海外展開も進めていく意向だ。